

年	主な地震災害	地震学・地震工学上の主な出来事	他の自然災害等	社会の動き
1880 (M13)	横浜地震(1880.2.22, M5.5~6, 横浜沖) 家屋破損, 煙突の倒壊あり。 お雇い外国人ら地震に大いに驚く。 →	内務省地理局による地震観測開始(1875) ミルン, ユーイングの来日  日本地震学会の設立(1880) 関谷による4階級の震度階(1884) レイリーによる表面波の理論(1885)		大日本帝国憲法発布(1889)
1890 (M23)	濃尾地震(1891.10.28, M8.0, 岐阜・愛知) 建物全壊142177, 半壊80184, 死7273。 山崩れ1万余。我国最大級の内陸地震。一 根尾谷を通る大断層を生じ, 水鳥で上下に 6m, 水平に2mずれた。 西洋から直輸入のレンガ造建物特に工場が 多数倒壊し, 多くの犠牲者を出した。 三陸地震津波(1896.6.15, MT 8.5, 三陸沖) 被害なし, 津波による被害甚大。 死27122, 家屋流失全半壊8891, 船の被害 7032, 津波の波高は吉浜で24.4m, 綾里で 21.9m, 田老で14.6mなど。	震災予防調査会の発足(1892) 地震学会消滅 調査研究の長期目標18条を定める。 (1)地震そのものに関する研究 (2)地震に伴う災害の軽減方策の研究 酒田地震(1894)の経験から, 木造家屋に筋 かい・方づえ・金物の使用の有効性を強調  中央気象台による7階級の震度階(1898)		日清戦争(1894)
1900 (M33)	サンフランシスコ地震(1906.4.18, M8.3) 煙突・レンガ造・しっくい壁等に大被害。 死674(その後の推定で700~800)。大火災 によりサンフランシスコ市の75%以上が壊 滅。焼失家屋約38000戸。20階程度の高層 鉄骨レンガ造に被害は少なかった。	大森・今村の地震論争(1906) 次の関東地震の発生時期と被害について  我国でのラーメン構造の始まり(1907~1910) S造・RC造の耐震設計法発展の契機に。  佐野震度, 家屋耐震構造論(佐野利器) 建物を剛体と仮定  ↓ 物部理論の建築への導入(1919) 内藤による 市街地建築物法公布(1919) 佐野震度の 百尺制限(高さ制限) 実設計への 丸ビルの竣工 応用  ↓ 市街地建築物法に震度0.1を明記(1924) 震災予防調査会廃止, 地震研究所設立(1925)	有珠/明治新山の誕生(1910) 桜島の大噴火(1914)	日露戦争(1904)
1910 (M43)	関東大地震(1923.9.1, M7.9, 関東南部) 地震後の火災で被害は著しく増大した。 死者99331, 行方不明43476, 家屋全壊 → 128266, 半壊126233, 焼失447128, 山 → 崩れ・崖崩れ多数。南関東に地変多く, 津 波の波高は三崎で6m, 洲崎で8mに達した。 流言蜚語が多発し, 朝鮮人虐殺などの社会 問題を生ず。	地震学会設立(1929) 「地震」発行 柔剛論争(武藤・真島1928~1930, 河野1933) エンパイアステートビル竣工		ウェーゲナー大陸移動説を 提唱するが支持されず。 第一次世界大戦(1914~ 1919)
1920 (T 9)	北伊豆地震(1930.11.26, M7.3) 死272。 丹那断層の出現により工事中の丹那トンネル が分断される。 三陸地震津波(1933.3.5, M8.3) 死3008。 被害なし。津波の波高は綾里で25.0m ロングビーチ地震(1933.3.10, M6.3) 死120。その殆どはレンガ造の破片落下に よる。大火災は発生せず。 インペリアルバレー地震(1940.5.18, M7.1) → 鳥取地震(1943.9.10, M7.2) 死1083。 東南海地震(1944.12.7, M7.9, 熊野灘) 死・不明1223, 全壊26130, 流失3059。 戦時中のため被害情報は極秘事項に。 三河地震(1945.1.13, M6.8) 死2306。  南海地震(1946.12.21, M8.0, 潮岬沖) 死1330, 不明102, 全壊11591, 半壊23487, 流失1451, 焼失2598。 福井地震(1948.6.28, M7.1, 福井平野) 被害は福井平野内部に限られたが住家 → 全壊率は60~80%以上, 死3769, 家屋倒壊 36184, 半壊11816, 焼失3851。  十勝沖地震(1952.3.4, M8.2) 死・不明33 → カーンカウンティ地震(1952.7.21, M7.7) タフトで強震記録が得られる。	加速度地震計の発明 末広, 米国で強震計設置の必要を説く(1931) 鉄筋コンクリート構造計算規準, 武藤のD法 ハウスマーの応答スペクトルの概念(1932)  世界初の加速度強震記録が得られた。最大振幅 は水平動0.23G, 上下動0.15G(Δ48km)。 リヒターによるマグニチュードの提唱(1935) エルセントロで0.33Gの強震記録が得られる。 (現在も第1級の耐震設計用地震動として 実務に利用されている)	佐野・谷口「耐震構造汎論」 函館大火(1934) 死1500 北陸豪雨(1934) 死119 室戸台風(1934) 死2702 寺田寅彦「天災と国防」 和辻哲郎「風土 人間学的 考察」  有珠/昭和新山の誕生(1943)  枕崎台風(1945) 死2473 不明1238, 広島大被害	満州事変の勃発(1931)  支那事変(1937) 第二次世界大戦勃発(1939) 太平洋戦争への移行
1930 (S 5)	南海地震(1946.12.21, M8.0, 潮岬沖) 死1330, 不明102, 全壊11591, 半壊23487, 流失1451, 焼失2598。 福井地震(1948.6.28, M7.1, 福井平野) 被害は福井平野内部に限られたが住家 → 全壊率は60~80%以上, 死3769, 家屋倒壊 36184, 半壊11816, 焼失3851。  十勝沖地震(1952.3.4, M8.2) 死・不明33 → カーンカウンティ地震(1952.7.21, M7.7) タフトで強震記録が得られる。	地震学会再発足(1947) 日本建築規格3001制定(1947) 許容応力度 許容応力度の改定により震度を0.2に(1948)  気象庁震度階級にⅦ(激震)が新設される。  建築基準法の公布(1950) 地震危険度地図の提案・河角マッブ 気象庁による津波監視業務の開始(1952) 地盤種別地域係数に関する建設省告示(1952)		東京大空襲(1945.3) 広島・長崎に原爆投下さる 終戦(1945.8) GHQ, 進駐軍
1940 (S15)	鳥取地震(1943.9.10, M7.2) 死1083。 東南海地震(1944.12.7, M7.9, 熊野灘) 死・不明1223, 全壊26130, 流失3059。 戦時中のため被害情報は極秘事項に。 三河地震(1945.1.13, M6.8) 死2306。  南海地震(1946.12.21, M8.0, 潮岬沖) 死1330, 不明102, 全壊11591, 半壊23487, 流失1451, 焼失2598。 福井地震(1948.6.28, M7.1, 福井平野) 被害は福井平野内部に限られたが住家 → 全壊率は60~80%以上, 死3769, 家屋倒壊 36184, 半壊11816, 焼失3851。  十勝沖地震(1952.3.4, M8.2) 死・不明33 → カーンカウンティ地震(1952.7.21, M7.7) タフトで強震記録が得られる。	SMAC強震計の開発・強震観測の開始(1953) TOKYO-101の地震記録(1956.2.14, 74gal) 世界地震工学会議の開催(1956, アメリカ) 金井清による常時微動の研究 東京タワーの竣工(1958) 第2回世界地震工学会議(1960, 日本) 東京駅超高層化計画(1959~1962) 動的耐震設計への機運 気象庁の津波検知システムの改良 建築基準法, 31mの高さ制限を撤廃 超高層建築が可能となる。  高層建築技術指針(1964) ベースシア係数の導入	洞爺丸台風(1954)  伊勢湾台風(1959) 死4697	民放テレビ開局(1953) 神武景気(1954~1957) トランジスタラジオ開発 住宅公団・団地開発(1956) 岩戸景気(1958~1961)  安保闘争, 池田内閣発足 経済の高度成長 貧乏人は麦を食え 所得倍増計画
1950 (S25)	鳥取地震(1943.9.10, M7.2) 死1083。 東南海地震(1944.12.7, M7.9, 熊野灘) 死・不明1223, 全壊26130, 流失3059。 戦時中のため被害情報は極秘事項に。 三河地震(1945.1.13, M6.8) 死2306。  南海地震(1946.12.21, M8.0, 潮岬沖) 死1330, 不明102, 全壊11591, 半壊23487, 流失1451, 焼失2598。 福井地震(1948.6.28, M7.1, 福井平野) 被害は福井平野内部に限られたが住家 → 全壊率は60~80%以上, 死3769, 家屋倒壊 36184, 半壊11816, 焼失3851。  十勝沖地震(1952.3.4, M8.2) 死・不明33 → カーンカウンティ地震(1952.7.21, M7.7) タフトで強震記録が得られる。			新制大学発足(1949) 朝鮮戦争勃発(1950) 朝鮮戦争特需景気(~1952) 民放ラジオ放送開局(1951) テレビ放送開局(1951)
1960 (S35)	チリ地震(1960.5.21, M8.5, チリ沖) 死5700, 傷3000。津波による被害が甚大。 ハワイ: 死61, 日本: 死119, 不明20, 全 壊1571, 半壊2183, 流失1259。 広尾沖地震(1962.4.23, M7.0) 釧路で0.4Gの 大加速度を記録したが殆ど無被害。 アラスカ地震(1964.3.27, M8.3, アラスカ南部) 死131, うち津波による死122。アンカレジ で大規模な地盤崩壊。石油タンクの被害。			

年	主な地震災害	地震学・地震工学上の主な出来事	他の自然災害等	社会の動き
1970 (S45)	新潟地震(1964.6.16, M7.5, 新潟県沖) 死26, 全壊1960, 半壊6640, 浸水15297. → 新潟市で顕著な液状化. 油火災発生す. 松代群発地震(1965.8.3~長野市松代周辺) 1969年末までに松代で有感地震62621回. 震度V9回, IV50回, 被害地震50回. → 全体で傷15, 全壊10, 半壊4, 地滑り64件 総エネルギーはM6.3相当. 0.5Gの記録. えびの地震(1968.2.21, M5.7, 宮崎県西部) 同日再震, 翌日再々震. 死3, 傷42, 全壊 368, 半壊636, シラサの山崩れ多数. 1968年十勝沖地震(1968.5.16, M7.9) 死49, 不明3, 全壊673, 半壊3004. 山崩れ ・津波あり. RC造建物の被害が目立つ. →	新潟市川岸町で我国初の強震記録が得らる. この後, SMAC強震計大いに普及する. 第3回世界地震工学会議(1965, ニュージーランド) 地震予知研究第1次5ヵ年計画発足(1965) 霞が関ビルの竣工(1967) プレートテクトニクスの登場(1967頃) 第4回世界地震工学会議(1969, チリ) 既存建物の耐震診断法に関する検討 鉄筋コンクリート構造計算規準の改定(1971) 柱の帯筋間隔を半分に. 曲げ降伏先行に.	田治見 宏「建築振動学」 藤井陽一郎「日本の地震学」 梅棹忠夫「知的生産の技術」 村松・藤井「日本の震災」 吉村 昭「海の壁 三陸沿岸 大津波」 高橋 裕「国土の変貌と水害」 金井 清「地震工学」	東海道新幹線営業運転開始 首都高速道路の開通 東京五輪(1964) 佐藤内閣の発足(1964) いざなぎ景気(1965-1970) 学園紛争 成田闘争始まる GNP世界第2位となる. メキシコ五輪(1968) アポロ11号月面着陸(1969) 阪神高速道路の開通 大阪万国博覧会(1970)
1980 (S55)	マナグア地震(1972.12.23, M6.0) 直下型! 根室半島沖地震(1973.6.17, M7.4) 傷26 伊豆半島沖地震(1974.5.9, M6.9) 死・不明38 大分県中部地震(1975.4.21, M6.4) 九重レークサイドホテルの一部崩壊. フリウリ地震(1976.5.6, M6.5, 北イタリア) 死968. 組積造建物の被害甚大. RC造も. 唐山(タンヤン)地震(1976.7.28, M7.8) 死70万, 傷78万と推定されていたが, 10年 後の公式発表では死242769, 傷707000. レンガ造中低層の85%, 住家の90%が壊滅. 1976年には, この他にもグアテマラ・ニュー ギニア島・ミンダナオ島・トルコ東部など 世界各地で大きな地震災害が発生した. ルーマニア地震(1977.3.4, M7.2) 1978年伊豆大島近海地震(1978.1.14, M7.0) 死25, 傷139, 全壊94, 半壊539, 崖崩れ大 堤の損壊でシアン化合物が狩野川へ流入. 1978年宮城県沖地震(1978.6.12, M7.4) 死27, 傷1227, 全壊651, 半壊5450, 崖崩れ 多数. 新興開発地に被害が集中した. モンテネグロ地震(1979.4.15, M7.3, ユーゴ) 死156. 8万人が住家を失う. PGA0.5G インベリアルバレー地震(1979.10.15, M6.6) → エルアスナム地震(1980.10.10, M7.3) 死2590, 傷8252, 市内建物の30%が大破. 南イタリア地震(1980.11.23, M6.5) 死2741, 不明189, 傷8872, 組積造が大破. 1982年浦河沖地震(1982.3.21, M7.3) 死0, 傷168, 全壊12, 半壊19. コーリング地震(1983.5.2, M6.5) 死0, 傷180. PGA0.54Gを記録. 1983年日本海中部地震(1983.5.26, M7.7) 死103, 不明1, 傷293, 全壊1446, 半壊2805. → 津波と地盤の液状化による被害が顕著. → モーガンヒル地震(1984.4.24, M6.2) コヨーテダムで1.3Gの水平加速度を記録. 長野県西部地震(1984.9.14, M6.8) 死29, 傷10, 全壊流失14, 半壊73など. 御岳山に大規模土石流が発生し王滝川を → 埋める. 王滝村松越地区にも地盤崩壊.	新耐震設計基準についての論争が始まる. 新宿副都心の超高層ビル群の建設始まる. マイクロゾネーション国際会議の開催(1972) 第5回世界地震工学会議(1973, イタリア) ショルツ理論 中国, 海城地震の直前予知に成功(1975.2.4) 新耐震設計法案まとまる(1977) 地震予知連絡会に東海地域判定会を設置 第6回世界地震工学会議(1977, インド) 第2回マイクロゾネーション国際会議(1978) 大規模地震対策特別措置法の公布 (1978.6.15, 施行12月) 池袋サンシャイン60ビル竣工(1978) 強震動の群列観測に成功. PGA1.5G(UD成分) 第7回世界地震工学会議(1980, トルコ) 国立防災センター, 関東3点の深井戸完成. 建築基準法施行令の改正(1980, 施行1981.6) 第3回マイクロゾネーション国際会議(1982) 油タンのスロッシングに関する自治省告示(1983.4) 津波監視体制の強化が課題に. 特に日本海側. 石油タンクの液面動揺(スロッシング)による油の 溢流が新潟で顕著に現れ再び問題に. 第8回世界地震工学会議(1984, アメリカ) 震源域内で10Gもの加速度が作用した可能性が あるとの報告があり論議を呼ぶ.	吉村 昭「関東大震災」 柳田邦男「空白の天気図」 有珠山噴火(1977.8.7) 御岳山の噴火 米国ペンシルベニア州スリー マイル島の原発で大規模な 炉心溶融事故(1979/3) セントヘレンズ火山噴火 ワシントン州(米国, 1980) ホテルニュージャパン火災 長崎大水害(1982.7.23) 長崎市の総降水量は598mm に達し死・不明299名. 三宅島噴火(1983) 齋藤宏保「重い遺産」 大崎順彦「地震と建築」	田中内閣の発足(1972) ミュンヘン五輪(1972) オイルショック(1973) トレットベーパー買占め騒動 三木内閣の発足(1974) 山陽新幹線開通(1975) ロッキード事件発覚(1976) モントリオール五輪(1976) 福田内閣の発足(1976) 構造不況の長期化 成田空港開港(1978.5) 大平内閣の発足(1979) 鈴木内閣の発足(1980) モスクワ五輪不参加(1980) 第2次オイルショック(1980) 東北・上越新幹線開業 中曽根内閣の発足(1982) 大韓航空機事件 ロサンゼルス五輪(1984)
1985 (S60)	チリ地震(1985.3.3, M7.7) 死179, 傷2575, 全壊73090, 半壊148886. メキシコ地震(1985.9.19, M8.1) 死6000(2万?), 傷3万?, 全壊約500, 震源 → から350kmも離れたメキシコ市で大被害. 茨城千葉県境の地震(1985.10.4, M6.0) 東京で震度Vを記録し話題となる. 千葉県東方沖地震(1987.12.17, M6.7) 死2, 傷138, 全壊10, 東京湾岸で液状化発生. スピタク地震(1988.12.7, M7.0, アルメニア) 死45000. 我国初の緊急援助隊結成さる. ロマブリエタ地震(1989.10.17, M7.1) 死63(当初270人説), サフワンス湾岸のペイ ブリッジ・リーウェ(880・マナ地区等の被害). マンジール地震(1990.6.21, M7.3, イラン) 死37000, 被災人口40万人. ルソン地震(1990.7.16, M7.7, フィリピン) 死1641, 不明969, 全壊25369. ホテルの倒壊 や液状化による著しい被害など. エルジンジャ地震(1992.3.13, M6.8, トルコ) 死554, 全壊4563, 半壊5884. 釧路沖地震(1993.1.15, M7.8) 釧路で震度VI 死2, 傷932. 釧路気象台で0.9Gもの水平加 速度を観測. 建物被害は軽微. 地盤災害多発.	第23回IASPEI総会(1985, 日本) 強震記録の早期公開. 我国から多数の調査団 派遣さる. 長周期・二重共振・エコー現象 等マスコミに. ESG研究活発化の契機に. 青函トンネル・瀬戸大橋の開通 第9回世界地震工学会議(1988, 日本) 夢の島人工地震実験の完了 ウォーターフロント開発の本格化 東京湾横断道路の着工 国際防災の10年(IDNDR)のスタート(1990) JICAによるマナコ地震防災センター(CENAPRED)開設 第4回サウスミック・ネーション国際会議(1991) 東京都庁新庁舎の竣工(1991) ESG国際シンポジウム(1992, 日本) 第10回世界地震工学会議(1992, スペイン) 釧路市内で余震観測・微動観測の共同研究 (加速度の大きさに比べ被害が小さい理由?)	白石一郎「島原大変」 日航機墜落事故, 死520 ネバデルルイス火山泥流 死25000(1985) 宮村 忠「水害」 チェルノブイリ原発が爆発. 事故による直接死は56人, 間接死は9000超?(1986/4) 伊豆大島割れ目噴火(1986) 全島民1万人島外避難. 雲仙普賢岳噴火(1990.11~) 比ピナツボ火山噴火(1991) 普賢岳で大規模火砕流発生. 死・不明43(1991.6.3) 野中郁次郎ほか「失敗の本質 日本軍の組織論的研究」 島原水無川で大規模土石流 頻発. 一応の終息は1992.8 寒川 旭「地震考古学」	バブル好況(1986~1991) ベレストロイカ路線表明 竹下内閣の発足(1987) ソウル五輪(1988) 昭和から平成に(1989.1) 中国, 天安門事件(1989) 宇野重吉内閣(1989.6) 海部内閣の発足(1989.8) 東欧革命の激化 東西ドイツの統一(1990) ベルン湾岸危機 湾岸戦争(1991) 宮沢内閣の発足(1991) ソビエト連邦の崩壊(1991) バブル崩壊(1991-1992) バルセロナ五輪(1992)
1990 (H2)				

年	主な地震災害	地震学・地震工学上の主な出来事	他の自然災害等	社会の動き
	<p>北海道南西沖地震(1993. 7. 12, M7. 8) 津波による犠牲者230名余の殆どは奥尻島内に集中し、人口4600人のうち死者・行方不明者は202人(4%)に達した。 ある余震(1993. 8. 8, M6. 5)では1. 6Gもの水平加速度が観測され注目されている。 ノースリッジ地震(1994. 1. 17, M6. 7) ロサンゼルス市北西部のサンフェルナンドバレーを中心にフリーウェイ・駐車場・アパート・ライフライン等に大被害。火災。死57, 重傷1497, 軽傷9348。米国で過去最大の被害額。1. 8Gの強震記録も過去最大。 北海道東方沖地震(1994. 10. 4, M8. 1) 北方4島で地震動と津波による被害大。ロシア住民の本土樺太への移住深刻化。津波のシミュレーション。釧路で震度VI。釧路で多数の強震記録が得られる。 三陸はるか沖地震(1994. 12. 28, M7. 5) 八戸に被害集中、震度VI。RC建物に構造的被害が生じ、1968年十勝沖地震との比較研究に関心が集まる。</p>	<p>横浜ランドマークタワーの竣工(1993)</p>	<p>鹿児島風水害(1993. 6~9)</p> <p>石橋克彦「大地動乱の時代」</p>	<p>細川内閣の発足(1993)</p> <p>FIFAドーハの悲劇(1993)</p> <p>村山内閣の発足(1994)</p>
1995 (H 7)	<p>兵庫県南部地震(1995. 1. 17, M7. 3) 死6433(間接被害を含む。直接被害は約5500)不明3, 傷43792, 全壊104906, 半壊144274, 全半壊6000以上。早朝のため死者の多くは家屋の倒壊と火災による。 活断層の活動によるいわゆる直下地震。神戸・洲本で震度VI。その後の現地調査により淡路島の一部から神戸市・芦屋市・西宮市・宝塚市にかけて震度VIIの『震災の帯』があることが判明。多くの木造家屋、鉄筋コンクリート造、鉄骨造などの建物のほか高速道路・新幹線を含む鉄道線路も崩壊。のちに『阪神・淡路大震災』と命名。 コジャエリ地震(1999. 8. 17, M7. 8, トルコ) 死17118, 不明多数。イズミット・アダバザル周辺で軟弱地盤に伴う被害甚大。 集集地震(1999. 9. 21, M7. 7, 台湾) 死2429, 傷10002, 全倒8722, 破損7575。 内陸逆断層上板側の南投縣・台中縣で特に被害甚大。断層上の石岡ダムで10mの段差。各地に山体崩壊、建物倒壊、橋梁破壊が出現</p>	<p>地震防災対策特別措置法の制定(1995. 7) 政府に地震調査研究推進本部を設置 第5回サイスミック・リレーション国際会議(1995, フランス) 政府交付金による活断層調査の開始(1995. 12) 科学技術庁全国1000点のK-NETを敷設(1996. 3) 気象庁震度階級解説表の改定と計測震度の導入(1996)。震度階級5と6に強・弱を付記。 第11回世界地震工学会議(1996, メキシコ) 兵庫県南部地震の後、免震建物が急増する。 政府交付金による堆積平野の地下構造調査の開始。関東平野・京都盆地など順次(1998) 第2回ESG国際シンポジウム(1998, 日本) 横浜市が150点の強震観測ネットワーク設置</p> <p>「阪神・淡路大震災調査報告」全26冊が5学会の協力で刊行される(1997-2000)</p>	<p>関東一円に豪雨災害(1998. 8)</p> <p>島本慈子「倒壊」</p> <p>小林一輔「コンクリートが危ない」 池谷 浩「土石流災害」</p>	<p>地下鉄サリン事件(1995. 3)</p> <p>橋本内閣の発足(1996) アトランタ五輪(1996)</p> <p>ダイアナ妃事故死(1997)</p> <p>冬季五輪長野大会(1998) 小淵内閣の発足(1998)</p> <p>山陽新幹線福岡トンネルで壁面剥落事故(1999. 6)</p>
2000 (H12)	<p>三宅島・神津島・新島近海の地震群(2000. 6. ~8.) M5以上40地震, うちM6以上4地震(最大M6. 5)。松代群発地震を上回る鳥取県西部地震(2000. 10. 6, M7. 3) 死0, 傷182, 全壊435, 半壊3101。 陸域の横ずれ断層型地殻内地震。境港市と日野町で計測震度導入後初の震度6強。 エルサルバドル地震(2001. 1. 13, M7. 8) 死852, 傷4520, 全壊92990, 埋没家屋688。 ココスプレートの沈み込みに伴うプレート内地震。全土が火山性堆積物で覆われているため各地で斜面崩壊が発生。アドベ造の被害により被災者が117万人(人口の1/5)。1ヶ月後の2/13にもM6. 4の内陸地震が首都サンサルバドルの近郊で発生し被害が拡大した。 インド西部地震(2001. 1. 26, M8. 0) 死20005, 傷166000以上, 全壊370000, 半壊922000。建物倒壊のほか道路・道路橋・港湾・ダム・ライフラインに被害発生。 芸予地震(2001. 3. 24, M6. 7) 死2, 傷288, 全壊70, 半壊774。 フィリピン海プレートのスラブ内地震。呉市の傾斜地などで被害が目立った。 宮城県沖(三陸南)の地震(2003. 5. 26, M7. 1) 岩手県南部・宮城県北部で震度6弱。JR東北新幹線の盛岡-水沢江刺間で高架橋脚の一部がせん断破壊したが仮補強で翌日に運行を再開させる。 宮城県北部の地震(2003. 7. 26, M6. 4) 大きな前震M5. 6と余震M5. 5を伴った。M6級だが震源が浅く石巻平野に大きな被害を生じた。傷677, 住家全壊1115, 半壊3078, 3箇所計測震度6強を記録。 十勝沖地震(2003. 9. 26, M8. 0) 太平洋プレート上面の逆断層型プレート間地震。1994年北海道東方沖地震以来のM8級。最大4mの津波。不明2, 傷842, 全壊56, 半壊78 苫小牧の石油タンクに本格的溢流と火災2基 東京の『長周期地震動』が大きな問題に。</p>	<p>第12回世界地震工学会議(2000, ニュージーランド)</p> <p>建設省告示第1461号の施行 『超高層建物の構造耐力上の安全性を確かめるための構造計算の基準を定める件』 工学的基盤を定義し応答スペクトルを提示 稀・極めて稀に起こる地震の2種を想定</p> <p>地震調査研究推進本部で地震動予測地図作成手法の研究を開始(2001. 4)</p> <p>中央防災会議、東海地震の地震防災対策強化地域の見直し。想定震源域が西へ拡大(2002) 中央防災会議、東南海・南海同時地震を想定 推定死者7400, 全壊28万棟(2002. 12)</p> <p>国交省「土砂災害警戒情報」を新設(2003. 6) 元地震予知連会長「M8地震が起きると判っている浜岡原発は危険」と警告(2003. 7) 中央防災会議、東海地震の切迫度を観測情報・注意情報・予知情報で3段階表示(2003. 7)</p> <p>中央防災会議、東南海・南海地震に対する「防災対策推進地域」の指定案作成(2003. 9)</p>	<p>有珠山腹噴火(2000. 3. 31) 噴火予知に成功。洞爺湖温泉閉鎖(7月中に営業再開) 三宅島噴火(2000. 6. 26~) 全島民島外避難。有毒ガスで2005. 2まで帰島できず。 高木仁三郎「原発事故はなぜくりかえすのか」 西澤・円満宇「地震とマシソン」 星野芳郎「自然・人間・危機と共存の風景」</p> <p>豪雨の九州土砂災害(2003. 7)</p>	<p>日比谷線線線衝突(2000. 3) 森内閣の発足(2000. 4)</p> <p>シドニー五輪(2000)</p> <p>小泉内閣の発足(2001. 4)</p> <p>明石市の花火歩道橋事故 死11, 傷247(2001. 7) NY世界貿易センタービルがテロで崩壊(2001. 9. 11) FIFA/W杯の日韓開催(2002) 平壤宣言、邦人拉致問題</p> <p>新潟朱鷺メッセで連絡通路が自然落下事故(2003)</p>

年	主な地震災害	地震学・地震工学上の主な出来事	他の自然災害等	社会の動き
	<p>イラン・バム地震(2003.12.26, M6.5)                      死40,000(地域人口の1/3), 家屋喪失10万人以上。アドベ・組積造の被害甚大。</p> <p>紀伊半島沖の連続地震(2004.9.5, M6.9, M7.4)                      傷42。気象庁津波監視システムにトラブル発生。津波警戒9000人が避難行動。避難勧告を出さない自治体があったと指摘される。堺市で石油タンクのスロッシング2mを観測。千葉の石油コンビナートでも30cmを確認。</p> <p>新潟県中越地震(2004.10.23, M6.8)                      死40, 傷2988, 住宅全壊2619, 半壊8536, 一部損壊77838。崖崩れが多発し, 山古志村など山間集落の孤立化やエコノミッククラス症候群が大きな社会問題となる。後日川口の震度計記録が蘇生し震度7と判明。JR上越新幹線が長岡で脱線するも死傷者なし。鉄道・道路(特にトンネル内)の被害多数。</p>	<p>NHKスペシャル『地震波が巨大構造物を襲う』                      東京首都圏への警告として(2004.1.18放送)</p> <p>第13回世界地震工学会議(2004, カナダ)</p> <p>地震調査委, 南関東30年以内の地震確率評価                      M7級70%, M8級0.8%(2004.8)</p> <p>政府が避難勧告の基準制定のための検討会                      豪雨や津波への発令遅れ防止(2004.10)</p> <p>強震記録の回収に時間を要し震度7の判定が遅れる。                      中山間集落の震災時の孤立化・避難後の過労死が問題に。                      トンネル内安全神話の崩壊</p>	<p>新潟・福島水害(2004.7)                      三條・見附・中之島で水害                      兵庫県豊岡・福井でも水害                      香川県高松市の台風水害                      三重県宮川村の土砂災害                      計10個もの台風が上陸(2004)                      各地で甚大な被害が発生。</p>	<p>アテネ五輪(2004)</p>
2005 (H17)	<p>スマトラ島西方沖の地震(2004.12.26, M9.0)                      インド洋に巨大津波。インドネシア・タイ・インド・スリランカ等で死者・行方不明者30万人。建物倒壊による死者数千人。</p> <p>福岡県西方沖地震(2005.3.20, M7.0)                      福岡市内で死1, 傷623, 住家被害1750(3/22福岡発表)。震源に近い玄界島に被害が集中。市の中心部ではビルの窓ガラス落下や高層マンションの被害。市中央部の警固断層の活動はなかったが断層による地下構造の段差が地震動強さに影響。</p> <p>スマトラ島沖地震(2005.3.28, M8.7)                      昨年末の震源の南東隣(ニース島直下)                      死600以上(1300との報告もある)</p> <p>千葉県北西部の地震(2005.7.23, M6.0)                      東京足立区で震度5強。傷37。火災4件。                      首都圏で交通網混乱。エレベーター内の                      缶詰78台。エレベーター停止は64,000台。                      首都圏の地震防災体制に警鐘を与える。</p> <p>宮城県沖の地震(2005.8.16, M7.2)                      宮城県南部で震度6弱。仙台市スポパークの天井落下でけが人多数。→</p> <p>パキスタン地震(2005.10.8, M7.7)                      死者7万人超。イスラマバードの高層住宅崩壊を含み北部カシミール地方(インド側も)で被害甚大。</p>	<p>阪神・淡路大震災10周年追悼式典(2005.1.17)                      国連防災世界会議が神戸で開催される。                      インド洋津波警報システムの提案。                      地震調査研究推進本部が「全国を概観した地震動予測地図」を完成(2005.3)                      防災科技研の「地震ハザードステーション J-SHIS」運用開始(2005.5)</p> <p>非構造部材の被害が深刻化</p> <p>アスベスト禍の問題がクローズアップされる</p> <p>想定されていた宮城県沖地震かどうかの論議                      またまた非構造部材(天井)の被害</p> <p>マンション・ホテル等の耐震強度偽装が発覚                      建築確認の基本に関わる大事件に(11.11)。</p>	<p>新潟中越の積雪量は最大4m                      融雪時に崖崩れ多発。</p> <p>米ルイジアナ州に巨大ハリケーン                      首都圏に豪雨災害                      台風14号で死・不明27人</p>	<p>JR宝塚線塚口-尼崎間で脱線                      事故。死107(2005.4.25)</p> <p>郵政法案をめぐる衆院解散                      と総選挙で自民圧勝(9.11)</p>
2006 (H18)	<p>インドネシア・ジャワ島地震(2006.5.27, M6.3) 死5,782。ジョクジャカルタ特別州バントウル農農村部のレンガ造と学校建築等の脆弱なRC建築に被害が集中。</p> <p>インドネシア・ジャワ島南西沖地震津波(2006.7.17, M7.7) 死525, 不明273。                      観光地バガンダランに2mの津波が押し寄せ海岸沿いのホテル・商店倒壊。USGSは津波警報を発していた。スマトラ津波の教訓は全く生かされず。3日後に津波来襲のデマでパニックとなる。(7/20報道)</p> <p>千島列島の地震(2006.11.15, M7.9)                      2mの津波警報に住民避難せず。</p>	<p>シンドラ一社エレベーターで死亡事故。他にも多数の事故が発覚し同社を捜査(6.7)。</p> <p>耐震偽装マンションの解体工事始まる。</p> <p>文科省の首都直下地震対策。地下構造と震源確定のため5年計画で地震計800点(7.30)。                      原子力安全委の原発耐震指針案作りが難航。                      活断層調査の信頼性がカギに。(8-28)。</p>	<p>沖縄本島で豪雨災害                      斜面崩壊/地すべり多発</p> <p>梅雨前線停滞による記録的な                      長雨と土砂災害多発。                      九州南部で総雨量1200mm。</p> <p>酒匂川上流に局部的豪雨,                      ダム放水が25人襲う(8.17)                      北海道佐呂間町で竜巻(11.8)                      プレハブ60m飛ばされ死9。</p>	<p>旧江戸川の送電線切断事故                      首都圏140万户停電(8.14)                      小泉総理, 終戦記念日に靖国神社参拝で物議を醸す。</p> <p>安倍内閣の発足(2006.9)                      北朝鮮が核実験(2006.10)</p>
2007 (H19)	<p>千島列島東方の地震(2007.1.13, M8.2)                      津波警報に住民反応せず。避難率6.6%</p> <p>スマトラ島中西部の地震(2007.3.6, M6.3)                      死70以上, 傷数百。余震恐れ被災者野宿。</p> <p>能登半島地震(2007.3.25, M6.9)                      輪島・穴水・七尾で震度6強。死1, 傷210。                      住宅全壊68, 半壊156, 火災0。避難2500人。                      断水1万户。集落の孤立化・高齢者の多さ・                      道路の盛り土崩壊や斜面崩壊など新潟中越地震(2004)との類似点多し。</p> <p>ソロモン諸島沖地震(2007.4.2, M8.0)                      被災情報ならず。ソロモン非常事態宣言。                      ギソ島など最大10mの津波。数千人パニック。                      「地下で爆発したような音の直後に大きく揺れ, すぐ津波が襲ってきた」</p> <p>新潟県中越沖地震(2007.7.16, M6.8)                      柏崎・刈羽等で震度6強。死11, 負傷1,800。                      当日の避難者約11,000。2日後には約5,000。                      住宅の損壊11,000棟。道路・鉄道被害多数。                      東電柏崎刈羽原発で火災を含む多数の被害。                      危機管理体制の貧弱さが暴露され, 柏崎市より                      操業停止命令を受ける。</p>	<p>気象庁, 津波予測精度向上へ算出法改良。                      BWR原発の制御棒トラブルが各地で発生していたことが発覚。</p> <p>耐震偽装事件に伴い6月より新たな審査制度                      構造計算適合性判定員資格試験で合格39%,                      追試13%, 不合格48%。</p> <p>原発耐震設計指針の総点検へ。                      東電, 電力供給の正念場を迎える(8/21)。                      「防災の日」の東海地震を想定した政府の                      総合防災訓練に中電浜岡原発が初参加。                      10/1から緊急地震速報: パニック心配                      被災者生活再建支援法の改正施行(12/14)                      人材不足で遅れる建築確認審査(12/17)</p>	<p>低気圧各地で大荒れ                      八甲田山の雪崩で死亡2。</p> <p>猪瀬直樹「空気と戦争」</p> <p>台風9号, 小田原に上陸(9/7)                      十文字橋落橋の原因は橋脚                      本体の沈下埋没。                      朝日新聞に連載: 地球異変</p>	<p>都知事選で現職石原氏3選。</p> <p>参院選で与党大敗(2007.7)</p> <p>安倍首相, 突如の辞任                      福田(康)内閣発足(2007.10)</p>

年	主な地震災害	地震学・地震工学上の主な出来事	他の自然災害等	社会の動き
2008 (H20)	<p>中国四川省で巨大地震(2008.5.12, M7.8) 犠牲者：死68,000, 不明20,000(5/29現在) 避難所生活480万人。テント不足300万張。 汶川・北川など山岳の少数民族居住区で 甚大な被害。学校建築の崩壊6,900棟。 2週間後のM6.4余震で倒壊7万戸、避難生活 1,400万人。北京五輪を控え社会問題続出。 岩手・宮城内陸地震(2008.6.14, M7.2) 山地の大規模な崩壊が多発。死13 不明10。 土砂ダムで温泉旅館が水没。荒砥沢ダム 上流で山体崩壊。祭時大橋落橋。 岩手県沿岸北部の地震(2008.7.24, M6.8) 岩手県洋野町で震度6強。負傷者200人超。 太平洋プレート内部の深発地震のため住家 の被害は多くなかった。</p>	<p>日本から人命救助チーム、医療チーム派遣。 活断層とは呼べない古い断層が活動した模様。 →今後の防災行政・原子力行政に波紋</p> <p>最大加速度4Gを記録。1.5m隆起の永久変位。 奥州市・一関市・栗原市で震度6強を観測。 →そのわりに住家被害が少ないのは何故？</p> <p>緊急地震速報は間に合わず。</p> <p>第14回世界地震工学会議(2008, 中国)</p>	<p>山下文男「津波でんでんこ 近代日本の津波史」</p> <p>ミャンマーのサイクロンで 強風/豪雨/高波災害(5/2-4) 死者推計で15万人！</p> <p>北陸・近畿各地で局地的豪雨 神戸市都賀川の急激な増水 で4人死亡(7/28)</p>	<p>北京五輪開幕(2008 8/8) 福田首相も突如の辞任 麻生内閣発足(2008.9)</p>
2009 (H21)	<p>イタリア中部地震(2009.4.6.未明, M6.3) ラクイラ周辺で死者260, 不明11, 負傷1,179。 石造建築の崩壊+未明の地震 地盤特性に周期2秒という長周期？ →</p> <p>駿河湾直下の地震(2009.8.11.05:07, M6.5) → 静岡県内で震度6弱。東名高速で路肩崩落。 電気・水道・ガス一時停止。新幹線一時運休。 怪我110人。建物是一部損壊3,340棟に。</p> <p>サモア近海の地震(2009.9.29.06:50, M8.0) 津波死者200人との情報。死119の発表(9/29)</p> <p>スマトラ島沖の地震(2009.9.30.17:16, M7.6) 死200, 数千人が瓦礫の下敷きの可能性。 さらに南東230kmでM6.8の地震(2009.10.1.) 山間部の被災地に救援隊の姿見えず。 国連から死1,100との発表あり(10/1)</p> <p>パヌアツ沖の地震(2009.10.8, M7.8, 7.6)</p>	<p>病院の耐震化まだ5割。災害拠点でも6割。 (厚生労働省の全国9000病院調査, 2009.1.) 被災地襲う不況の嵐。自治体も復興事業で 多額の借金。阪神大震災から14年 (朝日新聞1/17) 岩手・宮城内陸地震, 被害認定に募る不満 栗原市花山に進まぬ住宅再建(朝日新聞2/27)</p> <p>柏崎刈羽原発7号機運転再開の見通し。 1~5号機は再開の目処たらず(朝日新聞4/8) 建研調査 崩壊建物は鉄筋量や組み方に弱点？ 浜岡原発 震度7地域に(7/21) 推本の全国地震動予測Mapで確率30年間で6%</p> <p>地震の2時間後に東海地震観測情報を発表(初) 初の判定会で5時間緊迫。東海地震は否定へ。 浜岡原発で稼働中の2基の原発は自動停止。 →原発の一部で設計基準を上回る地震動(8/21) 気象庁発表：震度計26台設置場所悪く揺れすぎ 緊急地震速報で誤報。鉄道停止など混乱(8/25)</p> <p>地震調査研究推進本部, 想定東海地震などの 長周期地震動予測地図の試作版を公表(9/22)</p>	<p>荒川決壊なら地下97駅浸水。 (中央防災会議予測1/24) 九州沿岸で『副振動』被害。 長崎・鹿児島で160cm(2/25)</p> <p>山口で豪雨災害(7/21-25) 土砂崩れ多発。高さ5m鉄砲水 防府市中心に死14不明3に。 九州北部, 記録的豪雨(7/24-25) 時間雨量100mm超の記録続出 台風豪雨で死12不明10(8/10) 兵庫佐用, 岡山美作に大被害</p> <p>マニラ首都圏。台風による豪雨 災害。死246, 不明38。</p> <p>台風18号日本列島を縦断</p>	<p>オバマ大統領就任演説(1/24)</p> <p>村上春樹氏エルサレム賞受賞 『壁と卵』のスピーチ(2/15)</p> <p>皆既日食国内46年ぶり(7/22)</p> <p>民主党, 衆院選に大勝(8/30) 鳩山内閣発足(2009.9)</p> <p>八ツ場ダム建設中止で論議</p>
2010 (H22)	<p>ハイチで首都直下地震(2010.1.12, 5pm, M7.0) 死23万人以上, 負傷30万人, 被災人口300万人 中南米最貧国の首都機能は壊滅。遺体確認も 正確な犠牲者数の確認もできていない状況。 沖縄本島近海の地震(2010.2.27, M6.9)震度5弱 チリ地震・津波(2010.2.27, M8.8) 死796, うち587は津波か。 コンセプション等で建物被害甚大 刑務所から大量脱獄。店舗で略奪放火の情報 トルコ東部の地震(2010.3.8, M6.0, D5km) エラズー県で死51, 負傷70以上。 メキシコ・メヒカリ地震(2010.4.4, M7.2) 中国青海省の地震(2010.4.14, M7.1) 玉樹チベット族自治州, 海拔3500mでの地震 死1,339, 行方不明332, 負傷11,849。倒壊家屋 は15,000戸, 避難民10万人。</p> <p>スマトラ沖の地震(2010.10.25, M7.7, D20km) 津波で死408, 行方不明303。津波はヤシの木 の高さを軽く超えた。翌日にはジャワ島ムラ ピ火山で火砕流が複数回, 各地で地震も頻発 インドネシア全国で住民がパニック症状に。</p>	<p>兵庫県南部地震から15年の追悼式典開催(1/17)</p> <p>→『最悪の人道危機』との報道(1/24)</p> <p>気象庁, 津波警報・注意報の予測過大をお詫び 東北沿岸の6割近くが大津波警報無視避難せず 全国平均避難率は僅か3.8%との調査結果も。 ハイチに派遣されたチリレスキュー隊員の話 「ハイチの建物は耐震性が低かったがわが国 の建物は大半が頑丈だ」</p> <p>文科省, 小中学校の耐震化率73%と発表(7/21) イラクイラ地震で学者が住民への避難勧告を 怠ったとして地元検察当局が捜査を始める。 地震予知を誤った学者に法的責任は？ 推本の見解(10/20), 東海地震と富士川河口断 層帯が連動して地震を起こす可能性を示唆。 地表の段差は1~2m, 場合によっては10mで 東名高速・新幹線を分断する恐れもある。 ゆっくり地震で津波警戒されずの見解(11/12)</p> <p>ハイチでコレラ流行, 国連PK0部隊へ抗議デモ 緊急地震速報, 導入3年での中率56%</p>	<p>中央防災会議, 東京湾の高潮を 考慮した巨大台風の被害想定 で死者最大7,600人と発表。 アイスランドの火山噴火, 欧州 各地で空港閉鎖6日間(3-4月) 全国各地で大雨被害(7/2~17) パキスタン洪水で死1,600人超 中国甘肅省土石流で死1,117人 チリ北部鉱山の落盤事故で33人 が閉じ込められ69日後に救出 台風9号が福井に上陸(9/8) 東海・関東地方に豪雨災害 奄美大島で豪雨災害(10/20) 死3, 道路と通信網寸断で 住民約1,600人が孤立。</p>	<p>鳩山首相が退陣表明(6/2) 菅内閣発足(2010.6.4) 宇宙探査機『はやぶさ』が小 惑星『イトカワ』から帰還 カプセルを豪で回収(6/13) 参院選で民主敗北(7/11) 尖閣諸島の中国漁船衝突事件 ↓ (9/7) 船長釈放 ↓ 尖閣諸島の衝突映像流出事件 海上保安官の逮捕見送り 白鵬3連勝で止まる(11/15)</p>

年	主な地震災害	地震学・地震工学上の主な出来事	他の自然災害等	社会の動き
2011 (H23)	<p>NZクライストチャーチの地震(2011. 2. 22, M6. 3) 語学学校の日本人が多数生き埋めとの報道→死者不明者約200人, うち邦人28人 大規模な液状化は市中心部7-8km四方に及ぶ。</p> <p>東北地方太平洋沖地震(2011. 3. 11, M9. 0) → マグニチュードは7. 8, 8. 8さらに9. 0に修正 M7級, M6級の余震多く, 緊急地震速報が頻発『東日本大震災』が3. 12朝日朝刊のトップに。 最初の被害統計: 死93, 行方不明351, 負傷539 「福島原発, 冷却不能か」政府住民に避難指示 長野・新潟県境の地震(2011. 3. 12, M6. 7) 東北地方太平洋沖地震の遠方誘発地震とされ 長野県栄村で震度6強, 傷57, 全壊68, 半壊387。 *被害統計(3/13): 死686, 不明642, 負傷1426 *被害統計(3/14): 死&gt;1, 697, 不明&gt;12, 412 静岡県東部の地震(2011. 3. 15, M6. 4, D14km) 富士宮市で震度6強, 誘発地震, 東海地震との関係などの検測。富士宮市など2万余戸停電。 *死&gt;4, 851, 不明&gt;14, 428, 避難523, 288。(3/15) 東電福島第一原発で水素爆発など被害拡大, 周辺住民の避難活動も徐々に拡大し大混乱。 宮城県沖地震(2011. 4. 7, M7. 4, D40km) 仙台・栗原で震度6強。今まで最大の余震 青森・岩手・山形・秋田の全域が一時停電 福島県浜通りの地震(2011. 4. 11, M7. 0, D6km) 最大震度6弱, 死2, 重軽傷3. M6. 0, 5. 6の余震  *死13, 802, 不明14, 129, 避難136, 535(4/17)  *死14, 949, 不明9, 880, 避難117, 085(5/10)  *死15, 822, 不明3, 897, 避難71, 578(10/12)  トルコ東部の地震(2011. 10. 23, M7. 2) ワン近郊で死200以上, 負傷約1, 000人  *死16, 019, 不明3, 805, 傷6, 121, 全壊118, 621, 半壊181, 801(余震, 誘発地震を含む。10月末)</p>	<p>阪神大震災後の震災復興土地区画整理事業が地震から16年で完了の見通し, 計18地区で事業費総額は4, 012億円(1/8) 国交省, 超高層ビルやマンションに長周期地震動を考慮した耐震強度や家具の転倒防止策を義務づける方針と発表(1/10) 語学学校(CTV)ビル, 倒壊原因はねじれ振動か。日本政府, 70人規模の国際緊急援助隊を派遣 NZ地震, 昨年9月の地震(M7. 0)のひずみ影響? 気象庁, 津波予測精度向上に新システム(2/26) NZ地震のCTVビル倒壊, 刑事責任追及へ 市も所有会社も共に責任を否定(3/6) 首都圏の交通網停止で帰宅難民問題が現実。三陸沿岸の漁村は津波で全滅。津波災害は八戸から旭(千葉)に及び死者の身元確認, 行方不明者の確認・捜索も難航。 首都圏ではタンク火災, 東京湾岸の埋立地盤の液状化災害, 超高層ビルの長周期問題など。 福島第一原発は緊急停止はできたものの, 燃料棒が冷却不能に陥り, 1号機と3号機で水素爆発が発生するなど, 1~4号機全てが制御不能に陥り社会不安は長期間継続することに。 首都圏で水, 食料, ガソリン等買いだめ(3/14) 福島第一4号機でも爆発火災(3/15)。高濃度放射能が復旧阻む。 米エネルギー省による放射能拡散状況を測定した後期モニタリング結果を通報(3/22) 受理した文科省と保安院はそれを無視。</p> <p>政府, 飯館村など20km圏外の一部地域を計画的避難区域に指定。それ以外の20~30km圏の地域は屋内退避指示から緊急時避難準備区域に切り替える方針(4/11) 福島第一, 最悪のレベル7へ引き上げ(4/12) 建防協による応急危険度判定。危険住宅数は阪神大震災の1. 5倍の1万件超(4/25) 東北新幹線が全線開通(4/29) 菅首相, 浜岡原発全停止を中電に要請(5/6) GW終盤で被災地のボランティアが急減 菅政権の復興構想会議が復興財源として臨時増税を求める中間整理案を発表し物議醸す 福島第一原発1号機のほか2, 3号機にもメルトダウン発生データを東電が公表(5/16) 菅首相, 発送電分離・保安院独立に言及(5/18) 東電, 原発への津波来襲時の写真を公開(5/19) 福島第一原発3号機の冷却配管, 地震で破損か</p> <p>地元首長が玄海原発再開容認へ(6/29) 原発再開説明会で九州電力のやらせが発覚 原発関連の国主催シンポで中部電力や四国電力でも保安院のやらせ指示が発覚。</p> <p>国会に原発事故調査委員会を設置することに 三菱重工へのサイバー攻撃で軍事・原発情報流出の疑いが浮上(10/24, 朝日新聞1面top)</p> <p>文科省, 原発事故による放射能汚染地図を公表 拡散4ルートは風向き・雨が影響した(11/21) 政府地震本部が三陸~房総沖M9級地震の発生確率を今後30年以内に30%と予測(11/24) 高台移転, 岩手野田村で初の合意が成立(12/4) 鳥取県と中国電力, 10km圏外で初の安全協定 野田首相, 原発事故収束を宣言(12/16) 内閣府, 東海・東南海・南海の震源域を2倍(M9級)に拡大し被害・津波想定の見直しへ 原子力安全委, 耐震指針改定案に新津波基準 政府事故調, 中間報告で津波対策不備を指摘(12/26) 政府, 防災基本計画に津波編を大幅拡充(12/27)</p>	<p>オーストラリア北東部で洪水 10万戸停電で都市機能麻痺 ブラジル南東部でも豪雨災害 洪水と土砂崩れで死356人。 霧島連山・新燃岳の噴火災害 高原町1158人避難勧告(1/30) 口蹄疫, 鳥インフル後の災害 日本海側で豪雪, 死81, 負傷971</p> <p>中国新幹線, 浙江省で脱線事故 死35, 車両壊し埋める(7/23) 新潟・福島で豪雨災害, 37万人に避難指示・勧告(7/30) 開沼博『「フクシマ論」』 台風12号で紀伊半島を中心に豪雨災害・土砂災害(9/3, 4) 死24, 不明55人超。大きな被害は十津川・熊野川・那智川流域に集中。9/8から土砂ダム決壊を警戒。避難対象は27, 000人に及ぶ。 台風15号の接近で100万人以上に避難指示・勧告(9/20) 名古屋で河川氾濫/住宅浸水 その後首都圏・東北も直撃。 タイの洪水, バンコクに拡大 日本企業の被害も甚大</p> <p>ハッ場ダムの工事再開決定 民主党マニフェスト総崩れ</p>	<p>エジプト民衆デモ無政府状態 米, ムバラク政権に見切り リビアもカダフィ政権危機 カダフィ政権, 鎮圧に傭兵デモの犠牲者は1, 000人に。</p> <p>統一地方選で石原都知事4選</p> <p>米, ビンラディン殺害を発表</p> <p>平泉・小笠原が世界遺産に</p> <p>東電社長, 清水氏を西沢氏へ</p> <p>小出裕章「原発のウソ」</p> <p>菅首相が辞任の意向表明(6/2) 松本復興相, 方言で辞任(7/5) なでしこJPN, W杯世界一(7/18) 菅首相が退陣, 民主党代表選に前原, 海江田, 野田ら5氏 野田内閣発足(2011. 9. 2)</p> <p>リビア評議会がカダフィ氏死亡を発表(10/20)</p> <p>橋下徹氏, 大阪市長に(11/27)</p> <p>北朝鮮, 金正日氏死去(12/17)</p> <p>東京スカイツリー完成(2/29)</p>
2012 (H24)		<p>細野原発相『原則40年で廃炉』と発表(1/6) 原発寿命の法制化と過酷事故対策の義務化 原発『原則40年』に例外規定, 最長60年(1/17) 東日本大震災で免震ビルの3割に可動部損傷 野田首相, 大飯原発再稼働へ動き出す(2/8) 放射能拡散測定のための航空機モニタリングが3/12文科省と自衛隊間の打合せミスのため失敗していたとの報道(2/24)</p>	<p>安富歩「原発危機と東大語法傍観者の論理・欺瞞の言語」</p>	<p>東京スカイツリー完成(2/29)</p>

年	主な地震災害	地震学・地震工学上の主な出来事	他の自然災害等	社会の動き
2012 (H24)	<p>東日本大震災から1年(3/11) *死15,854, 不明3,155, 避難343,935</p> <p>スマトラ島西方沖地震(2012.4.11, M8.6)</p>	<p>ガスタンクの耐震基準強化へ(3/2)</p> <p>東日本大震災に伴う市原の爆発事故から文科省, M7級の首都直下想定地震で最大震度7の可能性を指摘, フィリピン海プレートの上面が従来の想定より10km浅くなったため.</p> <p>東京都, 首都直下地震の被害想定見直し(4/18) 死者は6,400人→9,700人, 帰宅困難517万人.</p> <p>復興庁, 東日本震災関連死を1,618人(3月末)と発表, 直接死・行方不明と併せ2万人超.</p> <p>国内50基の全原発が停止状態に入る(5/5)</p> <p>野田政権, 大飯原発3,4号機再稼動を決定(6/16)</p> <p>東電が独自の原発事故調報告書を公表(6/20) 想定外の津波を強調, 責任逃れに終始, の報道</p> <p>11年度復興費15兆円の4割が使用されず(6/29)</p> <p>大飯原発3号機が再起動(7/1)</p> <p>国会事故調が最終報告書を公開(7/5)</p> <p>原発事故を人災と断定, 7項目の提言 大飯・志賀原発直下に活断層か?(7/17)</p> <p>活断層なら停止/廃炉, 保安院, 断層再調査へ 国の津波避難対策検討WGが最終報告書(7/18)</p> <p>素早い避難が第一, 防潮堤は補助的と結論.</p> <p>復興住宅着工まだ1%, 仮設生活27万人(7/22)</p> <p>政府事故調が最終報告書を提出(7/23)</p> <p>安全最優先の姿勢(安全文化)の欠如を指摘</p>	<p>福島原発事故独立検証委員会 「調査・検証報告書」 朝日新聞特別報道部「プロメテウスの罫明かされなかった福島原発事故の真実」</p> <p>北関東で竜巻災害が発生(5/6) 死1, 重軽傷50, 家屋被害1,500</p> <p>台風4号が南紀上陸. 東海/関東/東北で死1, 重軽傷44(6/20)</p> <p>熊本/大分/福岡に豪雨災害 死19, 不明8, 24万人に避難指示, 11万人に勧告(7/12-14)</p> <p>高山文彦「大津波を生きる 巨大防潮堤と田老百年の いとなみ」</p>	<p>列島各地で金環日食(5/21)</p> <p>ロンドン五輪開幕(2012.7/27)</p> <p>衆院解散(11/16) 衆院選で自民党圧勝(12/16) 同日の都知事選で猪瀬氏圧勝 第2次安倍内閣発足(12/26)</p>